

12 トモエガモ

(カモ目)

兵庫県ランク:C

Anas formosa

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

本州、四国、九州では冬鳥、北海道、沖縄でも記録されている。兵庫県では主に9-翌4月に見られる。湖沼や河川、河口に生息し、草の実や葉、水草、水生の小動物などを採食する。古くから日本には多数渡来していたが、1990年代に全国的に急減した時期があり、その後、個体数はあまり回復していない。



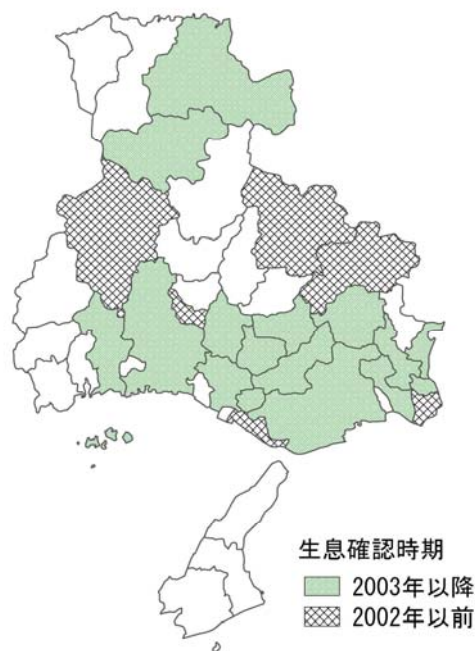
写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、(明石市)、西宮市、伊丹市、豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、三田市、加西市、(篠山市)、養父市、(丹波市)、(宍粟市)、加東市、たつの市、稲美町、(福崎町)



主要な選定理由

| 影響の人為性 | | | | 生態の脆弱性(特殊性) | | | 学術上の希少性 | | |
|--------|-------|----------|-------|-------------|--------|--------|----------|-------|----|
| 個体数激減 | 分布域激減 | 餌の可用性の低下 | 特殊競争圧 | 特殊捕食圧 | 特殊繁殖環境 | 特殊採餌環境 | ねぐら休息環境・ | 局地的繁殖 | 希少 |
| | | | | | | | | | |

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内では年により渡来する個体数に大きな変動があり、多い年には小野市鴨池や加古川市平荘湖で100-200羽の群れが見られたが、2003年以後は渡来数が激減した。最近は多くは2桁台で、最大でも30羽程度である。渡来地によっては、単独の個体が稀に記録される程度に減っているところもある。

保護上の留意点

ため池や河川敷の抽水植物群落など、姿を隠せる水辺環境の保全が重要。



写真提供:三谷康則